

# いちのみや通信

岡山県立  
岡山一宮高等学校PTA  
(第47号)

## 岡山県の教育課題と、 岡山一宮高校の未来を見つめて



PTA会長

竹原 和志

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校のPTA活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年度に引き続き、本年度も会長職という大役を務めさせていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

活動をより良くするための貴重な糧とさせていただきます。

さて、本紙『いちのみや通信』第47号をお届けする頃には、令和7年度も締めくくりを迎えようとしている時期かと存じます。本年度も「教職員の負担軽減」を一つの柱に掲げ、それが巡り巡って子どもたちの学力向上や部活動の充実、ひいては学校生活の質の向上に繋がるよう、試行錯誤しながら活動してまいりました。アンケート等を通じてお寄せいただいた皆様の忌憚のないご意見は、今後の

私自身、この2年間は岡山県高等学校PTA連合会の会長職も務めさせていただきました。県内10を超える団体に所属し、岡山県が抱える諸問題の協議に参画できたことは、私の人生においてかけがえのない財産となりました。このような貴重な機会を与え、背中を押してくださった皆様に、改めて深く感謝いたします。

多くの会議の中でも、特に深く考えさせられたのが「岡山県いじめ問題対策連絡協議会」での議論です。いじめの背景には、加害者側の無自覚や、抱えているストレス、家庭環境など、複雑な要因が絡み合っています。人間は時として、自

身の不安や不満を自分より立場の弱い者へ向けてしまう脆さを持っています。多感な高校生という時期、子どもたちは常に不安定な思春期の波の中にいます。校内で起きた事象に関して、本校の教職員の方々が

一丸となって対策に取り組んでくれています。我々保護者は、家庭内におけるお子様の心身の小さな変化に寄り添い、心のケアに努めていただければ幸いです。「いじめ」という悲しい出来事の加害者にも被害者にもなることなく、岡山一宮高校がすべての子どもたちにとって明るく、居心地の良い場所であり続けることをPTAとして切に願っております。

## 「挑戦する心」を育てるために



校長

甲本 龍平

日頃より本校のPTA活動にご理解とご協力をいただき、大変感謝しております。卒業生保護者の皆様には、お子様のご卒業、誠に

数多くご参加いただいで、本校生徒のために様々な取り組みを進めていただきました。本当にありがとうございます。

令和7年度もあと1月ほどとなりましたが、PTA会員の皆様方には1年間を通して学校運営を支えていただき大変ありがとうございます。今年度も岡山県高等学校PTA連合会の会長校となっております。竹原会長様には、校内外の行事にも

さて、今年度、本校はSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業において最終期である「先導的改革期」に指定されました。この期は、今までの取組の先見性が認められ、研究開発を通して確立した成果を全国に向けて普及することを大きな目的にしていま

す。3年間を通じた探究活動、それを補填する海外交流などの様々な取組、そして進学実績や大学卒業後の同窓生の活躍など様々な状況を総合して指定されました。つまり、今まで在校生や卒業生が取り組んできた一つ一つの成果が実を結んだこととなります。

私には、この学校に赴任し3年目を終えようとしていますが、多くの生徒の挑戦の場面に会ってまいりました。部活動、探究活動、生徒会活動、そして授業や課外活動の各場面で多くの生徒が様々な挑戦を続けています。時間を惜しみながらそれぞれの活動に取り組む姿、当然すべてを完璧にこなせるはずはありません。でも真剣に、苦しい場面でも笑顔を見せながら未来を見つめて自分に向き合っています。そのために学校ができること、それは生徒の活動に合わせた場の提供なのだろうと考えています。授業の様々な活動を支える教室、50年近くの時がたつため老朽化は見られませんが、各教室には単焦点型のプロジェクターが整備され、WiFiや室内空調も各教室に配備されています。しかし、生徒たちに提供できる場はこれだけではありません。すなわち、「挑戦できる場」がどれだけあ

るかではないかと感じています。学校を母体として、地域での活動、他県での活動、そして世界各地での活動など多くの場が、それぞれの生徒個々がめざす活動の場なのだと思います。今年度も多くの活躍に触れ、その成果を生徒自身も全校生徒に語る場面も作りました。それが「サイエンスレクチャー」です。ホームページ上でも確認していただければ是非見てみてください。さらにグローバルを意識した韓国・台湾各高校との交流、オーストラリアでの語学研修、そしてインドや他国の学生との交流、さらに県内各地での社会貢献活動や企業と連携した取組など、多くの場を提供しています。

これらは、「自ら考え、主体的に行動する資質・能力」を育成するための大切な場です。このような場を作ることで生徒たち自身が「挑戦する心」を整え、自らを奮い立たせ、自ら選択して挑戦して欲しいと思います。ご家庭でもそばでそっとお子様を後押ししていただけたいです。今後本校のPTA活動にご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願致します。

# 横断幕を制作しました！

岡山一宮高等学校の横断幕については、各部活動で制作・使用されているものもありますが学校が保有していたものについて、経年劣化により使用できるものなくなっていました。

このため横断幕を保有していない部活動の生徒から「横断幕があればもっと活躍できる」との声があつたことから、昨年度PTA評議員会において制作に関する提案を行い、了承をいただき、本年度学校の横断幕制作を行うこととしました。

学校カラーである臙脂（えんじ）をベースに、「文武不岐」と銀杏マーク（Inomiya）が映えるカラーリングでデザインを行い、7月に行われた水泳のインターハイ予選で初お披露目を行いました。



中国高校新人大会で優勝した男子水泳競技メンバー



どの部活動でも使用可能となっておりますので、どんどん大会等でご利用ください！

# 合格祈願に行ってきました

12月3日44期生の合格祈願のために、甲本校長先生と3年学年主任の入江先生、PTA役員3年評議員で吉備津彦神社へ参拝しました。

吉備津彦神社でご祈祷していただいた「合格カイロ」は、大学入学共通テストの前日までに配られました。

受験当日に今までに培った学力が存分に発揮できるように祈っていただいた御利益のあるカイロです。3年生の皆さんに先生や家族の思いもカイロを通じて伝



わりますように願っています。

# 銀杏祭バザー&お弁当販売

銀杏祭について、9月6日(土)文化の部(文化祭)、9月9日(火)体育の部(体育祭)が開催され、バザーおよびお弁当注文販売をPTA主催で実施しました。

文化祭では、PTA役員および評議員の皆さんにご協力いただきながら、約1300個のパン類、約600個のおにぎり、約1300本のドリンク類を購入、前日夕方と当日早朝からテント設営や商品関係の準備

等行いながら臨みました。

今年度は一般来場を行うこともあり、注文個数がなかなか読めないところがありませんでしたが、天候にも恵まれ(猛暑でしたが)多くの保護者や生徒、先生方、来場者の方々に購入いただき、無事完売することができました。また、「いちのみやタオル」についても多くの方

にご購入いただきました。体育祭では、今年度初めての試みとしてお弁当の事

前予約・販売を実施しました。こちらもPTA役員および評議員の皆さんにご協力いただきながら、事前注文をいただいた約180個のお弁当(全3種類)を生徒、保護者にそれぞれ引換



を行いました。準備や当日の販売にご協力いただきました方々、購入いただきました皆さま、大変ありがとうございました。



# 保護者の思い

## PTA活動に参加して

田村 直美(1年生)

子どもが成長し、自分の世界を築いていく姿は頼もしい反面、親としてはどこか寂しさを覚えることもあります。そんな中、今年度は評議員を務めさせていただき、文化祭のバザーなど

PTA活動に関わる機会を得ました。高校生になると、親子で一緒に何かを行う機会はありませんが、間接的に子どもの学校での様子を知ることができたように思います。まず、PTA活動の一つ、

保護活動にも参加しました。この活動は、他校の保護者や先生方と腕章をつけて見

回りをを行うことで、犯罪抑止の効果を期待するもので、実際に参加してみると、ただ見回るだけでなく、他校の保護者の方々と自然に会話が生まれ、情報交換の場として非常に有意義な時間となりました。岡山一宮高校の教育内容を当たり前のものとして捉えていたが、他校の様子を知ること、岡山一宮高校の特色や良さを改めて感じる機会にもなりました。話が盛り上がりすぎて、活動時間だけでは物足りず、活動後にはお茶をしながらさらに話したことは、よい思い出です。

また、校内活動では、年に3回評議員会が開催され、学年懇談会では主任の先生より学年の取り組みについて共有いただく機会があります。高校での「課題探究」授業の様子などをうかがう中で、特にICTの活用には、時代の大きな変化を感じずにはいられません。その一方で、「平日200分の学習時間確保」など学習への取り組みに関する話を聞くと、学習の手段こそ変われど、普遍的なことは変わらないと改めて気づかされます。社会の変化とともに急速に変化するものがある一方で、必要とされ

る学びの姿勢は、時代が変わってもなお不易のものであり、変化の激しい時代だからこそ、より一層その力が求められているようにも感じます。こうした力が、高校生活を通して身につくよう、親としてもフォローしていきたいと思えます。最後に、生徒一人ひとりに真摯に向き合い、熱意をもってご指導くださっている先生方に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

### 変化の年

河村恵美子（1年生）

今年度の4月に末娘が入学してから早11ヶ月。本当にたくさんの方がいらっしゃいます。

去年の3月、娘は合格したことへの安堵と、これからの生活に対する期待と不安の中にいたように思います。高校へ入学し、いやおうなしに変わっていく環境。いい変化も悪い変化もあったことでしょう。それでも彼女なりに努力し、なんとか必死に食らいついていっているようでした。そして今年度は私にとつての、変化の年ともなりました。

その一つが、PTA役員をするに決めたことでした。今思えば私は上の子たちの時から、学校生活についてあまり深く関わったことはありませんでした。せいぜい银杏祭等の行事に顔を出すくらい。

子どもたちは帰って来るといつも学校であったことを話してくれます。今日あった授業のこと、友だちのこと、部活のこと…それはそれは楽しそうに。上の子どもたちが次々と成人していき、末の子もあつという間に高校生。私が親として、「学校」というものに

### 星はみんなのもの

平松 佳子（2年生）

7月下旬、「天体観測に行くから、よろしく」と、息子に突然言われた。課題研究で天体観測の班になったとは聞いていたが「観測場所は建部にある親水公園。集合時間は19時」とだけ伝えられ、何をするのかよくわからないまま、とりあえず車を走らせた。

無事に現地に到着した。公園といっても道具はひとつなく、河川敷が広がるだけの場所に、生徒と保護者が集まっていた。この日の天候は晴れ。天体観測は夜が本番のため、太陽が沈むまで何も始められなかった。

岡山一宮生徒のことを褒めてくださいました。明るく笑顔で対応してくれて、とても気持ち良かった。と、それを聞いて私はとても誇らしくなりました。そうなのです。この積極性と社交性こそ岡山一宮が掲げる探究の精神そのもの。

まだまだ私が岡山一宮について知っていることはとても少ないです。なのでこれから、この学校についてもっと知っていけるように頑張りたいと思います。

### 高校とのかかわり

真鍋 正喜（2年生）

私は岡山一宮高校とのかかわりは息子の進路を決めた時から始まった。特別入試の受験高校を岡山一宮に決めたからだ。自宅から自転車以最寄り駅まで行き、電車に乗り換え岡山でバスに乗り換え学校に通う。時間にして1時間半の道のりである。本人が希望しているが通えるかの不安があった。特別入試では実力が発揮できず残念な結果となった。一般入試で結果が出て現在に至っている。高校では放送部に入り活動をしている。2年になってから他の高校との活動もあり楽しんでいようである。遠距離通学である中で学校生活を送れているようで安心している。

私は入学後PTA活動に参加させてもらっている。役員の方は大変な負担があると思うが、一部員として

20時を過ぎ、ようやく日が沈むと、深い青色の空に星たちが少しずつ姿を現し始めた。先生が到着し、いよいよ天体観測が始まった。三脚の高さやカメラのピント合わせに試行錯誤しながら、それぞれが撮影を開始していく。せっかくの機会なので、課題研究の傍ら、私も星空を眺めることにした。

親水公園周辺は街灯が少なく、肉眼で見える星の数は市内中心部とは比べものにならないほど多く、本当にきれいだった。星空に没入しているうちに、川の音や虫の声が心地よく重なり、癒しの時間となっていた。流れ星もあちこちで見えたが、願いがとをする間もない速さですぐに消えていった。

### 高校とのかかわり

真鍋 正喜（2年生）

先生は子どもたちの指導の合間に、保護者の質問にも丁寧に答えくださった。その中で、「星はみんなのもの」ということがとても印象に残った。人種や国、貧しさや環境によって、人は分けられてしまうことがある。しかし、夜空に浮かぶ星は、誰の上にも同じように輝いている。星は選ばない。そのように、私は感じた。

息子の付き添いで参加した課題研究だったが、いつの間にか「星っておもしろい」と思うようになっていった。このような貴重な機会をいただいたことに、心より感謝したい。

しています。

### 岡山一宮高校での3年間

河合 道子（3年生）

お手伝いをしています。活動では学校の先生といろいろなお話することができ、情報交換がたやすくできていくように感じている。また活動の中では校内の银杏祭のお手伝いは、子どもたちの学校内での様子が見られ接することができたのは販売に携わられたからなのではないだろうか。校外での活動では、駅前・列車保導があり、これは、駅周辺の高校合同で通学途中の様子を見て回るものです。街中や列車内で困っている生徒がいなかったか先生と保護者で回るのがほかの学校の方との交流ができてよい機会になります。もう一つ校外での活動で、西警察署管内の小学校・中学校・高校の保護者の見守りがあります。これは、小・中学校の学区内の量販店等に、春と秋の年2回日時を決めて見守りを行うもので、高校からは近くの中学校の見守りに参加するので、地域との交流になります。岡山一宮高校では学校に訪れる機会が多くあり、その中で、球技大会と银杏祭の体育の部では、息子の放送部も活動しているの、息子の活躍を見られることができ感激

しています。また、部活動で過ごした仲間たちとの時間も、息子にとつてかけがえのないものでした。ともに汗を流す中で、少しずつ前を向く力を取り戻していったように思います。

高校生活を終えようとしている今、受験勉強を頑張る息子を見ながら、これまでの姿を思い、私自身この3年間の思い出を振り返る時間が増えているように思います。入学した頃は、新しい環境に戸惑い、親の目には少し立ち止まり、不安や不満を抱え込んでいたのではないかと感じる時期もありました。母として、色々聞きたいながらも、学校での出来事や自分の気持ちなどをなかなか話をしないことに、もどかしさを抱えながら日々を過ごしてきました。高校生活の中で、思うようにいかないことが重なり、気持ち揺らぐ時期もあつたように思います。表情が曇る日や、言葉少なに過ごす夜もありました。それでも、そんな息子のそばには、変わらず声をかけ、いつも通りに接してくれる仲間の存在がありました。日常の何気ない会話や、周りの笑顔が、息子にとって大きな支えになっていたことは、今になりほんとに感謝して

います。

そして何より、日々子どもたちに寄り添い、温かく声をかけてくださった先生方には、心より感謝しております。ある朝、モヤモヤした表情で登校した息子を心配しながら送り出した日、帰って来てどんな言葉で迎えるかと考えながら日中を過ごしました。ところが帰宅した息子はなぜか晴々とした表情。『なにかあったん？』と声をかけると、『あつ、大丈夫！3時間目に〇〇先生に話を聞いてもらってすっきりしたわ!!』と。

担任でない先生に、授業のない貴重な時間を一人の生徒の為に使って話を聞いてくださる。学年全体で一人ひとりを自分事としかかわって気にかけてくださり、背中を押してくださいました。息子の歩みを支えてくださいました。楽しいことばかりではなかった3年間ですが、多くの仲間、先生方に支えられ

ながら過ごした3年間は、息子にとつてとても学びの多い大切な時間になったと思います。ありがとうございます。

### 自分を楽しむ

藤田 直美（3年生）

私には3人子どももがいて、全て男の子です。その内の次男と三男が双子です。次男が岡山一宮高校に通っています。長男がいたので子育ての経験はありましたが、赤ちゃんが2人増えての生活は本当に忙しいものでした。生後6ヶ月までは私と主人の両親が交互に泊まり込んで手伝ってくれましたが、7ヶ月目からは完全に私だけとなりました。勿論週末は主人も手伝ってくれました。あまりに忙しかったからか双子が1才くらいまでの記憶がほぼ無いです。生活が落ち着いてくると、母や近所の方からよく言われた言葉を思い出しました。「男の子が3人いると大変ね。体力勝負よ。」と。そんな時にちょうど長男のママ友から「ジャザサイズ」を勧められたので、見学に行ってみました。アメリカLA発のダンスフットネスで、託児付きで

した。とても楽しそうだったし、元々体育会系なのですぐに入会しました。1時間のワークアウトは、子どものことを気にせず、自分の事に集中出来る時間でもりフレッシュ出来ました。双子も3才くらいになると、毎日昆虫、ザリガニ、魚など色々な生き物を獲りに行きたがり、体力勝負な日々となりました。（真夏の昼2時くらいによくザリガニ獲り行かれました）鍛え始めて本当に良かったです。ジャザサイズは私に合っていたようで、今も続けていて、今年で17年目になります。四十肩や五十肩知らずです。ちなみに約40日で筋肉はついてくるので、今から何か運動を始めても大丈夫ですよ！子どもが小さい頃は子育てについて終わるんだらうとよく思っていました。子どもが上がっていくと時間が経つのがどんどん早く感じるようになり、双子ももう高校3年生。過ぎてしまえばあつという間ですね。2年前くらいにジャザ友から「宝塚を観に行かない？」と誘われました。実は大学時代に一度だけ観劇したことがありましたが、当時観た演目は和物だったくらいしか

覚えてなく、あまり記憶に残ってなかったです。今回誘われた演目は、再演があればぜひ観てみたいと思っていた「ベルサイユのばら」でした。観劇した感想は、とても素晴らしかったです。結果、月に一度は観劇に行くようになりました。そして、なんと今年宝塚歌劇団に入団した111期生の中には、岡山一宮高校出身の「瞳花みれ」ちゃんがいいます！今は組回り中で、どの組に配属されるかはまだ決まっていません。が、素敵な娘役さんになっていられると思います。ぜひぜひ皆で応援していきましょう!!子どもの事も色々考えつつ自分時間も楽しんで、これからも心も体も元気に過ごしていきたいと思っています。



岡山県岡山一宮高等学校  
PTA活動に関する情報はこちらの二次元コードから閲覧できます！